

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 9 月 14 日(2022.9.14)

【公開番号】特開 2020-189045(P2020-189045A)

【公開日】令和 2 年 11 月 26 日(2020.11.26)

【年通号数】公開・登録公報 2020-048

【出願番号】特願 2019-97461(P2019-97461)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 9 月 6 日(2022.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い遊技者にとって有利な有利状態に制御可能であり、通常状態と、該通常状態よりも前記有利状態に制御されやすい特別状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者の動作を検出可能な第 1 検出手段と、

遊技者の動作を検出可能であり、前記第 1 検出手段とは異なる第 2 検出手段と、

前記有利状態に制御されることを報知する報知演出を実行可能な報知演出手段と、

前記報知演出手段による前記報知演出より前に前記有利状態に制御されるか否かを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

前記示唆演出において、前記第 1 検出手段による検出が可能となる場合と前記第 2 検出手段による検出が可能となる場合とがあり、前記第 2 検出手段による検出が可能となる場合の方が前記第 1 検出手段による検出が可能となる場合よりも前記有利状態に制御される割合が高く、

30

前記通常状態において前記報知演出が実行された後に前記第 2 検出手段による検出が可能となる第 1 演出と、前記特別状態において前記報知演出が実行された後に前記第 2 検出手段による検出が可能となる第 2 演出と、を実行可能であり、

前記第 1 演出と前記第 2 演出とは、実行期間が異なり、

前記通常状態において、前記第 1 演出を実行可能である一方で前記第 2 演出は実行不可能であり、

前記特別状態において、前記第 2 演出を実行可能である一方で前記第 1 演出は実行不可能であり、

40

前記通常状態において、前記第 1 検出手段による検出が可能となる頻度よりも前記第 2 検出手段による検出が可能となる頻度が少ない、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

50

(A) 上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、
 可変表示を行い遊技者にとって有利な有利状態に制御可能であり、通常状態と、該通常状態よりも前記有利状態に制御されやすい特別状態に制御可能な遊技機であって、
 遊技者の動作を検出可能な第 1 検出手段と、
 遊技者の動作を検出可能であり、前記第 1 検出手段とは異なる第 2 検出手段と、
 前記有利状態に制御されることを報知する報知演出を実行可能な報知演出手段と、
 前記報知演出手段による前記報知演出より前に前記有利状態に制御されるか否かを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、
 前記示唆演出において、前記第 1 検出手段による検出が可能となる場合と前記第 2 検出手段による検出が可能となる場合とがあり、前記第 2 検出手段による検出が可能となる場合の方が前記第 1 検出手段による検出が可能となる場合よりも前記有利状態に制御される割合が高く、
 前記通常状態において前記報知演出が実行された後に前記第 2 検出手段による検出が可能となる第 1 演出と、前記特別状態において前記報知演出が実行された後に前記第 2 検出手段による検出が可能となる第 2 演出と、を実行可能であり、
 前記第 1 演出と前記第 2 演出とでは、実行期間が異なり、
 前記通常状態において、前記第 1 演出を実行可能である一方で前記第 2 演出は実行不可能であり、
 前記特別状態において、前記第 2 演出を実行可能である一方で前記第 1 演出は実行不可能であり、
 前記通常状態において、前記第 1 検出手段による検出が可能となる頻度よりも前記第 2 検出手段による検出が可能となる頻度が少ない、
 ことを特徴とする。

10

20

30

40

(1) 上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、
 可変表示を行い遊技者にとって有利な有利状態に制御可能であり、通常状態と、該通常状態よりも前記有利状態に制御されやすい特別状態に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、
 遊技者の動作を検出可能な第 1 検出手段（例えばプッシュセンサ 3 5 B など）と、
 遊技者の動作を検出可能であり、前記第 1 検出手段とは異なる第 2 検出手段（例えばコントローラセンサユニット 3 5 A など）と、
 前記有利状態に制御されることを報知する報知演出を実行可能な報知演出手段（例えば大当り組合せを構成する飾り図柄を仮停止表示する演出制御用 CPU 1 2 0 など）と、
 前記報知演出手段による前記報知演出より前に前記有利状態に制御されるか否かを示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段（例えばスーパーリーチのリーチ演出を実行する演出制御用 CPU 1 2 0 など）と、を備え、
 前記示唆演出において、前記第 1 検出手段による検出が可能となる場合と前記第 2 検出手段による検出が可能となる場合とがあり（例えば操作演出を実行可能であり）、前記第 2 検出手段による検出が可能となる場合の方が前記第 1 検出手段による検出が可能となる場合よりも前記有利状態に制御される割合が高く（例えばスティックコントローラ 3 1 A（V コン）の操作を検出する種類の操作演出が実行された場合の方が、プッシュボタン 3 1 B の操作を検出する種類の操作演出が実行された場合よりも可変表示結果が「大当り」となる割合が高くなっているなど）、
 前記通常状態において前記報知演出が実行された後に前記第 2 検出手段による検出が可能となる第 1 演出と、前記特別状態において前記報知演出が実行された後に前記第 2 検出手段による検出が可能となる第 2 演出と、を実行可能であり（例えば通常状態においては第 1 演出を実行し、確変状態においては第 2 演出を実行可能であるなど）、
 前記第 1 演出と前記第 2 演出とでは、実行期間が異なる（例えば第 1 演出の方が第 2 演出よりも実行期間が短いなど）、
 ことを特徴とする。

50